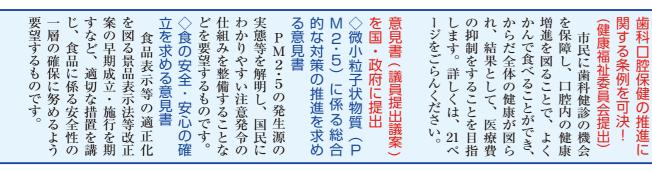
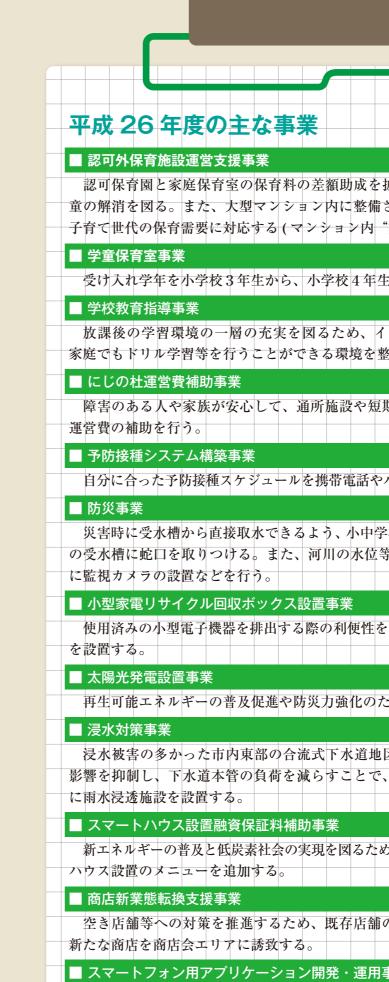


を値上 ることは好ましくない市民間に不公平が生じ ら反対す やすことに さらに市民の負 賛成 げすることは、 伊東 る なることか 秀浩 い担をふ 議員

議員





スマートフォンの特長を生かしたアプリケーショ 課題の情報提供を受けるとともに、行政からは情報

※ スマートハウス…コンピューターやデータ通信技術を利用して家庭内のエネルギー消費を最適化する住宅。

5

る

とだ議会だより No.182

主な事業

(千円単位は切り捨て)
1億 5,333 万円
拡充し、家庭保育室の利用者をふやし、待機児
される保育室に運営費補助等を行い、入居する
"家チカ"保育所運営支援事業)。
8億 5,437 万円
生までに拡充。
755 万円
インターネットに接続したパソコン等を利用し、
整備する。
7,462 万円
期入所施設のサービスを利用できるよう、施設
131 万円
パソコンで管理できるよう、システムを導入する。
1 億 2,086 万円
学校4校(美谷本小、笹目小、笹目東小、戸田中)
等を監視するため、河川2カ所(緑川、菖蒲川)
149万円
を高めるため、市役所や公共施設に回収ボックス
1,221万円
ため、町会会館に太陽光発電システムを設置する。
8,509万円
区に、浸透雨水ますを増設する。また、雨水の
、効率的な雨水処理ができるよう、喜沢中学校
60万円 め、「勤労者住宅資金融資制度」に新たにスマート
×ハー 新力 自 住 七 頁 並 隈 頁 时 皮 」 に 新 に に 人 マート
380 万円
の刷新や閉店した店舗の再生等を促すとともに、
事業 944 万円
争来 944 万円 ンを開発・運用することにより、市民から身近な
ンを開発・運用することにより、市氏から身近な 発信をすることで地域の課題解決につなげていく。

4